

管理目標の設定

| 政策                | 施策             | 事務事業        | (主な長期戦略)                  | アウトプット                |                    |                           |                              | アウトカム   |                          |                    |                    |   |   |
|-------------------|----------------|-------------|---------------------------|-----------------------|--------------------|---------------------------|------------------------------|---|--------------------------|--------------------|--------------------|---|---|
|                   |                |             |                           | 目標項目                  | 短期・中期目標            |                           | 長期目標値(50年)                   | 備考  | 目標項目                     | 短期・中期目標            |                    | 長期目標値(50年)                                | 備考  |
|                   |                |             |                           |                       | 短期(4年)<br>(平成30年度) | 中期(8年)<br>(平成34年度)        |                              |   |                          | 短期(4年)<br>(平成30年度) | 中期(8年)<br>(平成34年度) |   |   |
| 2. 管・施設を効率的に運用する。 | (1) 管・施設の老朽化対策 | ③ 下水道管の改築   | 重大事故の防止(サービス水準の確保)        | 改築延長(累積km)            | 22.8               | 40.0                      | 現状の健全度を維持するために必要な延長          | 管路平均経過年数(年)                                       | 24.71<br>(※25.76)        | 26.51<br>(※28.20)  | 48.94<br>(※69.01)  | (※の数値は、改築を実施しなかった場合の経過年数)                 |   |
|                   |                | 下水道管路の不明水対策 | 有収率向上                     | 不明水調査・対策実施(一)         | 調査実施               | 対策実施                      | 対策実施                         | これから実施される調査を踏まえて実態把握や対策検討が行われるため、現時点では数値目標を設定しない  | 要因特定、対策計画策定・実施による効率的施設運営 | 4処理区で調査実施・対策検討     | 計画に基づく対策の実施        | 不明水対策継続実施による有収率向上(使用料収入アップ及び浄化センター流入水量削減) | これから実施される調査を踏まえて実態把握や対策検討が行われるため、現時点では数値目標を設定しない            |
|                   |                | ⑤ 下水道施設の改築  | 予防保全的な施設管理の継続(サービス水準の確保)  | 改築実施数(累積箇所)           | 35                 | 50                        | リスク評価による改築の実施<br>健全度Ⅱの施設割合維持 | 箇所数は工事箇所をカウント                                     | 長寿命化対策実施によるLCC削減額(百万円/年) | 18                 | —                  | —   | 更新では無く部品交換を行うことによる削減費用(長寿命化計画策定毎に算定)                        |
|                   | 設備平均健全度(-)     |             |                           |                       |                    |                           |                              |   | 3.0                      | 3.0                | 3.0                | 浄化センター・ポンプ場の機電資産の加重平均(平成25年度:3.1)         |   |
|                   | (2) 施設の適正化     | ストックの最適化    | 人口減少下の最適なストックの確保(LCCの最適化) | 施設ネットワーク化、減設計画等の検討(一) | 汚泥処理施設最適化の検討       | 最適化施設の実施<br>施設ネットワーク化等の検討 | 施設規模、運用効率等を踏まえたストックの最適化      | 数値目標や具体的実施内容は計画策定後でないとして設定できない為、現時点では方向性の記載程度に留める | 標準耐用年数に対する設備経年化率(%)      | 現状程度               | 現状程度               | 現状程度                                      | 標準耐用年数に対する経年化率(平成25年度:129%)                                 |
|                   |                |             |                           |                       |                    |                           |                              |   | 施設等の実施ネットワーク化、減設計画       | 汚泥処理施設最適化の検討       | コスト削減              | 適正規模のストック運営により、経費回収率の向上を図る                | 数値目標は計画検討後でないとして設定できない為、従来手法よりも建設・維持管理コストを削減する、程度の定性的内容に留める |

※ 水色着色部分は、現在の「第3次中期経営計画」で示されている項目及び内容

## 目標値定義、計算方法

| 事務事業            | 目標項目                                       |                 | 実施目標  | 計算方法   | 効果  |
|-----------------|--|-----------------|---|--|---|
| 2(1)③下水道管の改築    | 改築延長<br>(累積km)                             | アウトプット          | 「静岡市公共下水道再構築基本計画」に沿って策定予定の「管きょ長寿命化計画」に基づき、再構築を必要とする下水道管路を改築します。                             | 各年度実施改築延長累計<br>(km)  | —   |
|                 | 管路平均経過年数<br>(年)                            | アウトカム           | 「静岡市公共下水道再構築基本計画」に基づき改築を実施することにより、管路の設置からの経過年数(管更生を行った場合は実施からの経過年数)を、長期的には一定以下に保ちます。        | 管路布設又は管更生からの経過年数(年)×当該管路延長(km)<br>÷全延長(km)                     | 管路の老朽化が原因で起こる不具合や重大な事故の発生を未然に防ぎます。                                      |
| 2(1)下水道管路の不明水対策 | 不明水調査・対策実施、要因特定、対策計画策定・実施による効率的施設運営<br>(一) | アウトプット<br>アウトカム | 不明水の要因を特定するための調査・分析に基づき、必要な対策の検討と実施をしていきます。   | —  | 不明水の要因を特定し対策を実施することで、有収水量への転換による使用料収入の増加及び不明水量減による浄化センター負荷低減を図ることが出来ます。 |
| 2(1)⑤下水道施設の改築   | 改築実施数<br>(累積箇所)                            | アウトプット          | 「静岡市公共下水道再構築基本計画」に沿って策定した「施設長寿命化計画」に基づき、再構築を必要とする箇所を改築します。                                  | 各年度実施箇所累計(工事数)   | —   |
|                 | 長寿命化対策実施によるLCC縮減額<br>(百万円/年)               | アウトカム           | 「静岡市公共下水道再構築基本計画」に沿って策定した「施設長寿命化計画」に基づき改築を実施することにより、長寿命化対象資産のライフサイクルコストを削減します。              | (長寿命化対策を実施する資産を更新した場合の年平均費用の累計)－(長寿命化対策として部品交換を行った場合の年平均費用の累計) | ライフサイクルコストの最適化を図り、効率的な改築が可能となります。                                       |
|                 | 設備平均健全度<br>(一)                             | アウトカム           | 「静岡市公共下水道再構築基本計画」に基づき改築を実施することにより、浄化センター・ポンプ場が保有する機械・電気設備の加重平均健全度を3に維持します。                  | (各年度末における資産(機電)の健全度×再構築費用)÷(再構築費用計)                            | 経年劣化による設備の故障による処理機能の低下を未然に防ぎます。   |
|                 | 標準耐用年数に対する設備経年化率<br>(%)                    | アウトカム           | 「静岡市公共下水道再構築基本計画」に基づき改築を実施することにより、浄化センター・ポンプ場が保有する機械・電気設備の経過年数について、標準耐用年数に対する超過率を一定以下に保ちます。 | (施設(機電)の経過年数の総計)÷(施設(機電)の標準耐用年数の総計)×100                        | 経年劣化による施設の故障による処理機能の低下を未然に防ぎます。   |
| 2(2)ストックの最適化    | 施設ネットワーク化、減設計画等の検討                         | アウトプット<br>アウトカム | 人口減少下における最適なストックの確保を図るために、施設のネットワーク化や減設計画等の検討を行います。   | —  | 施設の効率的な配置・運転により、事業費の削減及び災害に強い施設運用が可能となります。                              |